

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年9月26日

もてぎカートレース第5戦

SSクラス(参加16台)

ツインリンクもてぎ北ショートコース

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 小曾戸和彦(チーム エッフェガーラ)



★今大会にむけて

前回、前々回と優勝争いをしながら最後の最後で落としてしまうレースをやらかしているの、今回は最後まで気を抜かず、冷静さを忘れずにレースしようと思いました。
何よりも、単独走行になると走りが乱れるので、前日はその辺を意識して走り込みを行いました。
タイム的にはまずまずで、数台でバトルを織り交ぜた練習をした時も行けそうな手ごたえを感じていたの、後は本番で力が出し切れるかどうかにかかっていると思い本番に挑みました。

公式練習・TT

公式練習では前日履いていたのと同じタイヤでコースイン。
まだ路面が出来ていないにも関わらず、前日のベストタイムが出せて調子も良い。
NEWタイヤに履き替えたTTでもマシンの調子、序盤のポジショニングも良くPPを狙えたが自身のミスと最後に前に詰まってしまった事もあり3番手に沈む。PPを逃した上に、フロントローを高田組(ジャパネット、ウィッシュ大悟)に明け渡してしまった。

予選

イン側の特権でスタートでは2番手に上がり、とりあえず高田組の一角は崩したが、なかなかペースが上げられずモタモタしている内に後ろからミサイルも飛んで来て一時5番手まで落ちる。その後もなかなかペースが上がらない状況に苦しんだが、今回は焦らず冷静にレースを進める事ができたおかげで、前が勝手に自滅した事もあり終わってみれば3位でフィニッシュ。元の位置に戻って来れた。
だがしかし、フロントローは依然として高田組が占領状態。

決勝

決勝スタート前になぜ予選でペースが上がらなかったかを再度DVDで確認した。
すると、4コーナーの立ち上がりで最終コーナーの立ち上がりで問題ありと判明。とにかく、ハエが止まるぐらい遅いのだ!!
何とかしなければと思い、アレコレ思考を巡らして決勝に挑んだ。
ホールショットはイン側特権を生かして2番手で抜ける。しかし、状況は予選以上に良くない。
序盤はウィッシュ大悟の猛追を何とか封じ込めつつトップを走るジャパネットに食らい付いて行ったが、とうとう抜かれてしまった。それからと言うもの、また1台、また1台とズルズル順位を下げていく情けない展開が続いたが何とか冷静さを保ちアレコレ走り方をアレンジする事に専念した。
コーナーで詰められるのに、4コーナーと最終の立ちでどうしても鈍りその先が伸びない。
試行錯誤するも結局最後まで解決には至れず、5番手でチェッカー。
さらにジャパネットが優勝という最も都合の良くない結果に、ポイント的にも万事休す状態で幕を閉じた。

◆レース結果

TT 3位 (42.119)

予選 3位

決勝 5位

◆シリーズランキング

4位 (35ポイント)

第5戦終了時点

★レースを終えて

今回はタイムというよりも、肝心な所での速さを欠いていたと思います。(4の立ち、最終の立ちが悪いのは致命的)
何が原因だったのかは未だ分かりませんが、次回のレースまでに何とか対策したいと思います。
そんな中、不利な状況下でも比較的冷静にレースが進められた点は今後においてプラスになったと思います。
ポイント的には厳しい状況ですが、事実は事実なので受け止めて次回は強さを取り戻せるように頑張りたいと思います。
また、最終戦はポイントが1.5倍なので荒れるレースが予想されるので、今以上にメンタル面は必要だと思います。
エッフェガーラ加藤代表をはじめ、メカニックの小曾戸和彦さん、DVDを撮影して下さった小曾戸由香さん、応援して下さいましたすべての方々には期待に答えられずゴメンナサイ!!という気持ちです。 次回は頑張ります(ゝ^)/